

第14回
富士山百景写真コンテスト
2019年度



| グランプリ「暁に滝雲流れる」



| 金賞「光る雲」



| 金賞「春の日溜り」

Ⅲ 前期基本計画

第2部 各論

基本目標1 安心できる暮らしを守るまち

基本目標2 次代を担うひとを育むまち

基本目標3 支え合い健やかに過ごせるまち

基本目標4 豊かな環境を保ち継承するまち

基本目標5 活力を創り高めるまち

基本目標6 魅力を活かし人と人を繋ぐまち

基本目標7 快適な暮らしを続けられるまち



「各論」の見方



基本目標

「めざす都市像」を具現化するための7つの基本目標がタイトルになっています。

政策分野

基本目標に繋がる政策分野を表しています。

将来のまちの姿

政策を推進した結果、本市がどのような姿になっているかを表しています。

現状と課題

この政策分野の政策を推進する理由となる、本市の現状と課題を表しています。

基本方針

課題を解決するための基本的な考え方と政策の方向性を表しています。

施策

基本方針を踏まえた具体的な取組内容を表しています。

III 前期基本計画
第2部 各論
基本目標
1 安心できる暮らしを守るまち

政策分野 ① 危機管理

● 将来のまちの姿 地震や風水害などへの備えが充実した 災害に強いまち

1 地震対策の強化

現状と課題
南海トラフ地震の発生や津波の襲来が想定される中、高齢化の進行や外国人人口の増加など地域の状況が激しく変化しており、その変化に対応するため共助の取組を強化することが求められています。

基本方針
地域の自主防災活動における協働の取組の充実や、震災時の住宅等の安全性を確保するなど、地震対策の強化を図ります。

施策

主な取組

- ※ 自主防災会長や地域防災指導員など防災活動のリーダーとなる人材の育成を図るとともに、事業者や市民団体などとの協働による防災活動を促進するなど、地域防災力の向上を図ります。
- ※ 防災セミナーや防災出前講座、防災啓発動画などにより防災意識の高揚を図ります。
- ※ 木造住宅等の耐震化や危険なブロック塀等の撤去・改善を促進し、震災時の被害軽減を図ります。
- ※ 国や県と連携し、ソフトとハード対策を組み合わせた津波対策や災害に強い港づくりを推進します。

構成事業

- 自主防災組織育成事業
- プロジェクト「TOUKAI-0」事業
- 田子の浦港津波対策事業 など

2 豪雨等対策の強化

現状と課題
近年、局所的な集中豪雨など大規模自然災害が増加し、甚大な被害が発生する恐れがあることから、河川や水路等の総合的な対策を実施するとともに、市民一人ひとりが、災害リスクを把握した避難行動をとることが必要です。

基本方針
豪雨や台風等による災害リスクの周知を推進するとともに、国や県と連携しながら河川や水路の整備、急傾斜地崩壊対策を推進するなど、豪雨等対策の強化を図ります。

施策

主な取組

- ※ 主要河川や水路及び雨水渠等の整備や維持管理を推進するとともに、排水機場や調整池等の雨水流出抑制施設の強化を図ります。
- ※ 水防団に対して資材・装備等の支援を行うなど地域の水防力の向上を図ります。
- ※ 国や県と連携し、急傾斜地崩壊対策など砂防施設の整備を推進します。
- ※ 市民一人ひとりが、居住する場所の災害リスクを把握し避難行動を取れるよう、ハザードマップの活用講座等を実施します。

構成事業

- 富士早川改修事業
- 水防団活動支援事業
- 急傾斜地整備事業
- 防災啓発事業 など

3 危機管理体制の強化

現状と課題
緊急時の避難情報や支援情報を、だれもが確実に入手できるよう、多様な手段や主体による情報提供の充実が求められているとともに、災害発生時及び復旧期における被災者の支援を強化する必要があります。

基本方針
緊急時の情報提供は、だれにとってもわかりやすい情報となるよう努めるとともに、平常時に災害時の要配慮者を把握し、災害発生時に迅速かつ円滑に支援する体制を強化するなど、危機管理体制の強化を図ります。

施策

主な取組

- ※ 国、県、防災関係機関等との連携体制の強化や民間施設等との災害時応援協定締結を推進するなど、災害時の受援体制の強化を図ります。
- ※ 地震や豪雨、富士山噴火等の緊急時における情報収集と共有を図り、同報無線やテレビ、ラジオ、SNS^{※1}等の多様なメディアを活用した情報発信体制の整備を進めます。
- ※ 災害時にだれもがトイレで困ることのないようトイレ対策の充実を図ります。
- ※ 福祉施設や地域の支援者と協力し、高齢者など災害時に配慮が必要な人への支援体制を強化します。

構成事業

- 危機管理体制整備事業
- 防災無線整備事業
- 避難行動要支援者支援事業 など

III 前期基本計画
第2部 各論
基本目標
1 安心できる暮らしを守るまち

被災地へ派遣したトイレトレーラー

富士市総合防災訓練の様子

1時間降水量50mm以上の年間発生回数(全国1,300地点当たり)

発生回数 (棒グラフ) | 長期変化傾向 (線グラフ)

成果指標

地震や風水害などへの備えが充実した災害に強いまちである

現状 令和3年度	目標 令和8年度
評価平均点 2.88	3.40
★★★★	★★★★★

高評価者の割合
20.5% → 55.0%

49

50

1.2.3の項目はそれぞれ縦方向に対応しています。

SDGsアイコン

当該施策が寄与するSDGsの17のゴールを表しています。

主な取組

施策ごとの具体的な取組内容を表しています。

成果指標

この政策分野の成果を示す指標であり、総合計画モニターへのアンケート調査により現状値を把握しました。上段は5を最高評価とした5段階評価の平均点、下段は同じ5段階評価で4、5と回答した総合計画モニターの割合を示しています。目標値は、それに対する令和8(2026)年度の値を示しています。

構成事業

主な取組を実施する事務事業を表しています。